(H30)鶴が淵発電計画 事業性評価事業

1. 事業の目的

(H30)鶴が淵発電計画 事業性評価事業について、正常流量調査検討業務、流量調査検討業務を実施し、事業性の評価に繋げる。

2. 事業の内容

（1） 事業者名
GPSS ホールディングス株式会社
（2） 事業名
(H30)鶴が淵発電計画 事業性評価事業
（3） 事業期間
平成 30 年 6 月 5 日 ～ 平成 31 年 2 月 27 日
（4） 調査を実施する発電設備の概要
a.発電形式 ： 水路式
b.使用水量 ： 0.7 ㎥/s
c.有効落差 ： 36.8m
d.出　　力 ： 197W

3. 平成 30 年度の事業実施概要

① 正常流量調査検討業務
河川横断測量と河川流量調査を減水区間の瀬である 3 箇所で行い、正常流量の検討を行なった。

② 流量調査検討業務
プロペラ式流速計等を利用して、6～8 月について、月に 2 回(計 6 回)流量の調査を行った。
データについて、1 年分のデータを取りまとめ、流況の評価を行った。

流量観測状況

正常流量調査 1 地点目

正常流量調査 2 地点目

正常流量調査 3 地点目

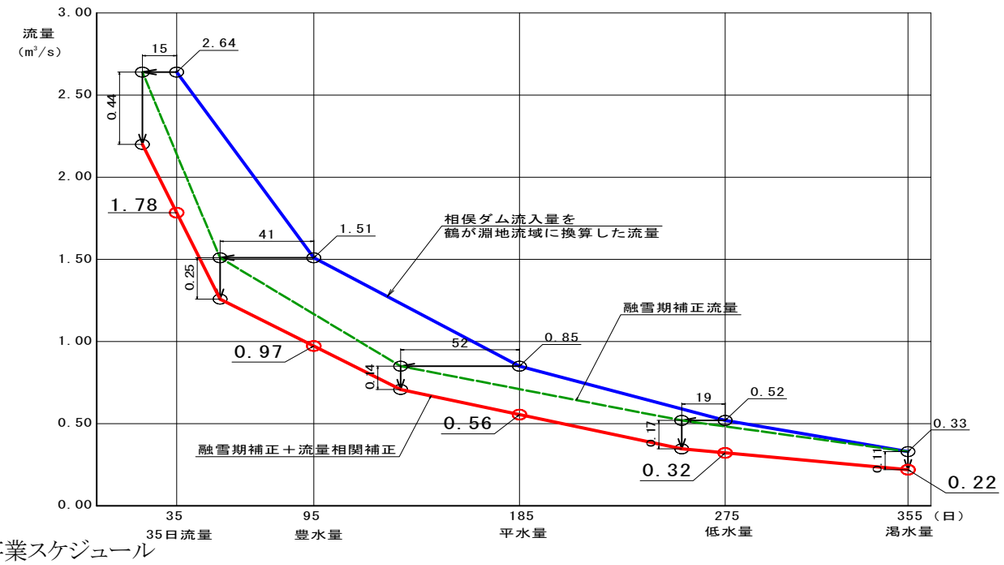
4. 事業の成果等

① 正常流量調査検討業務
調査の結果、正常流量について 0.075 ㎥/s が妥当だという結果を得られた。

時期		春(3, 4, 5月)	夏(6, 7, 8月)	秋(9, 10, 11月)	冬(12, 1, 2月)
移動	イワナ	0.075m3/s	0.075m3/s	0.075m3/s	0.075m3/s
	ヤマメ	0.075m3/s	0.075m3/s	0.075m3/s	0.075m3/s
	アユ	0.075m3/s	0.075m3/s	0.075m3/s	—
	設定値	水深15cm以上	水深15cm以上	水深15cm以上	水深15cm以上
産卵	イワナ	—	—	0.075m3/s	—
	ヤマメ	—	—	0.075m3/s	—
	アユ	—	—	—	—
	設定値1			流速0.2m/s以上	
	設定値2			水深15cm以上	
景観		0.075m3/s			

（注1） 産卵条件は、検討対象の瀬に、それぞれ一箇所の産卵場所の確保を想定した。
（注2） 景観条件は、移動条件を満たせば確保されるので、移動条件の流量を表示した。

② 流量調査検討業務
流量調査を 6～8 月に毎月 2 回(計 6 回)行う事により夏の時期の流況を評価する事が出来た。
また、本補助事業以外の調査を含めて、1 年間の流況を評価する事が出来た。



5. 事業スケジュール

調査内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
流量調査検討業務	■	■	■	■	■				
正常流量調査検討業務	■	■	■	■	■	■	■	■	
成果品作成									■